



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 3023 URL <https://www.rasaco.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 青井 邦夫
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 桜木 和陽（TEL）03(3668)8231
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	12,647	6.8	932	31.2	1,017	18.8	742	16.9
2025年3月期中間期	11,838	△10.0	711	△18.8	856	△12.3	635	△8.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 903百万円（52.2%） 2025年3月期中間期 593百万円（△23.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	69.22	—
2025年3月期中間期	57.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	32,234	22,170	68.8
2025年3月期	33,259	21,861	65.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 22,170百万円 2025年3月期 21,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	34.00	—	38.00	72.00
2026年3月期	—	36.00			
2026年3月期（予想）			—	36.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,000	5.4	2,500	△1.3	2,700	△5.0	2,000	△3.8

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	11,383,838株	2025年3月期	11,383,838株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	743,747株	2025年3月期	643,747株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	10,725,805株	2025年3月期中間期	11,009,024株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
3. 参考情報	12
個別業績の概要	12

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果から緩やかに回復しております。一方で、物価上昇の継続により個人消費に及ぼす影響が懸念されます。また、世界経済においては、米国の通商政策の影響や国際状況の不安定感の高止まりなどから景気の下振れリスクが懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2026年3月期から2028年3月期までの3か年を計画期間とする新中期経営計画「“Step Forward” Rasa 2027～成長のステージへ～」を策定し、前中期経営計画で強化を図ってきた経営基盤のもと、社会インフラを支える付加価値創出企業として、既存事業の安定的成長にとどまらず、新たなステージへの一步を踏み出し、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間における売上高は、主に環境設備関連が増収となったことを受けて126億47百万円となり、前年同期と比べ8億9百万円(6.8%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は9億32百万円となり、前年同期と比べ2億21百万円(31.2%)の増益となりました。経常利益は10億17百万円となり、前年同期と比べ1億60百万円(18.8%)の増益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は7億42百万円となり、前年同期と比べ1億7百万円(16.9%)の増益となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、当社取り扱い原料の需要停滞による受注減少のほか、市場価格下落の影響もあったことから、関連部門の売上高は26億71百万円となり、前年同期と比べ1億39百万円(△5.0%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は51百万円となり、前年同期と比べ67百万円(△56.5%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間企業の設備が安定して稼働したことから、主力ポンプの部品販売が好調を維持しました。しかし、海外向けシールド掘進機の工期遅れが影響し、関連部門の売上高は40億70百万円となり、前年同期と比べ2億1百万円(△4.7%)の減収となりました。一方、部品・整備関連が引き続き好調に推移したことから、セグメント利益は4億12百万円となり、前年同期と比べ78百万円(23.7%)の増益となりました。

環境設備関連では、大型ピストンポンプの部品・整備需要が堅調に推移したことに加え、製鉄所向け水砕設備において既存設備の改良工事が完工したことから、関連部門の売上高は15億38百万円となり、前年同期と比べ8億88百万円(136.7%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は3億3百万円となり、前年同期と比べ2億46百万円(438.5%)の増益となりました。

化成品関連では、当社取り扱い原料の一部において、引き続き中国の輸出規制による市況上昇が続いており、関連部門の売上高は32億29百万円となり、前年同期と比べ3億80百万円(13.4%)の増収となりました。一方、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、セグメント利益は52百万円となり、前年同期と比べ11百万円(△17.4%)の減益となりました。

プラント・設備工事関連では、大型工事の進捗が計画よりも下回ったことにより、関連部門の売上高は10億10百万円となり、前年同期と比べ1億20百万円(△10.7%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント損失は9百万円(前年同期は36百万円の利益)となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸ビルの満室維持とテナント賃料の見直しがあったことから、関連部門の売上高は1億91百万円となり、前年同期と比べ2百万円(1.2%)の増収となりました。また、設備管理費・火災保険料などの販売費及び一般管理費は増加しましたが、賃貸収入の増加により、セグメント利益は1億4百万円となり、前年同期と比べ0百万円(0.9%)の増益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は322億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億24百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は191億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億78百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で8億64百万円の減少、受取手形、売掛金及び契約資産で3億5百万円の減少等があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は130億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で2億90百万円の増加があった一方で、保険積立金で73百万円、繰延税金資産で68百万円の減少等があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は74億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4百万円の減少となりました。

これは主に、電子記録債務で5億11百万円、支払手形及び買掛金で3億61百万円の減少等があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は26億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億27百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で2億89百万円の減少があった一方で、役員株式給付引当金で52百万円の増加等があったことによるものです。

(純資産)

純資産は221億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8百万円の増加となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益で7億42百万円を計上したことによる増加等があった一方で、剰余金の配当で4億21百万円の減少等があったことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は48億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億64百万円の減少となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億12百万円(前年同期は8億95百万円の収入)となりました。

これは主に、仕入債務の減少額8億94百万円、法人税等の支払額又は還付額4億69百万円により資金の減少があった一方で、売上債権及び契約資産の減少額4億2百万円により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は46百万円(前年同期は1億41百万円の収入)となりました。

これは主に、保険積立金の払戻による収入1億13百万円があった一方で、保険積立金の積立による支出76百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億98百万円(前年同期は13億8百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額4億21百万円、自己株式の取得による支出3億43百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日付の2025年3月期決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,732	4,867
受取手形、売掛金及び契約資産	7,224	6,918
電子記録債権	2,562	2,464
商品及び製品	4,545	4,627
未成工事支出金	49	98
原材料及び貯蔵品	5	6
その他	99	157
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,219	19,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,476	4,476
減価償却累計額	△3,049	△3,104
建物及び構築物(純額)	1,426	1,372
機械装置及び運搬具	479	480
減価償却累計額	△447	△453
機械装置及び運搬具(純額)	32	26
土地	6,000	6,000
その他	1,644	1,643
減価償却累計額	△1,547	△1,561
その他(純額)	97	81
有形固定資産合計	7,556	7,480
無形固定資産		
ソフトウェア	54	41
その他	2	2
無形固定資産合計	56	44
投資その他の資産		
投資有価証券	4,218	4,508
退職給付に係る資産	11	8
繰延税金資産	82	13
保険積立金	967	894
その他	153	151
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	5,426	5,568
固定資産合計	13,039	13,093
資産合計	33,259	32,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,113	2,752
電子記録債務	1,615	1,104
工事未払金	212	190
短期借入金	1,650	1,550
1年内返済予定の長期借入金	190	380
未払法人税等	507	364
契約負債	56	124
賞与引当金	417	403
工事損失引当金	27	31
その他	727	512
流動負債合計	8,518	7,413
固定負債		
長期借入金	2,174	1,885
繰延税金負債	336	348
役員株式給付引当金	160	212
その他	207	204
固定負債合計	2,878	2,650
負債合計	11,397	10,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,835	1,844
利益剰余金	18,226	18,547
自己株式	△643	△826
株主資本合計	21,494	21,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	528
繰延ヘッジ損益	△9	0
その他の包括利益累計額合計	367	528
純資産合計	21,861	22,170
負債純資産合計	33,259	32,234

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	11,838	12,647
売上原価	9,021	9,468
売上総利益	2,817	3,179
販売費及び一般管理費	2,106	2,246
営業利益	711	932
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	30
持分法による投資利益	67	88
保険解約益	52	-
その他	26	26
営業外収益合計	167	145
営業外費用		
支払利息	12	19
保険解約損	8	39
その他	1	1
営業外費用合計	21	60
経常利益	856	1,017
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	27	54
その他	1	-
特別利益合計	29	55
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	885	1,073
法人税等	250	331
中間純利益	635	742
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	635	742

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	635	742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	150
繰延ヘッジ損益	△16	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△41	161
中間包括利益	593	903
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	593	903
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	885	1,073
減価償却費	110	92
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30	△14
受取利息及び受取配当金	△20	△30
保険解約損益 (△は益)	△44	39
支払利息	12	19
持分法による投資損益 (△は益)	△67	△88
固定資産除売却損益 (△は益)	0	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△27	△54
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,810	402
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△545	△131
未収入金の増減額 (△は増加)	16	21
未収消費税等の増減額 (△は増加)	273	△50
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,129	△894
未払金の増減額 (△は減少)	△8	△6
契約負債の増減額 (△は減少)	△87	68
その他	△31	△112
小計	1,159	333
利息及び配当金の受取額	33	42
利息の支払額	△12	△19
保険金の受取額	11	0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△295	△469
営業活動によるキャッシュ・フロー	895	△112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29	△52
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△3	△0
投資有価証券の売却による収入	38	64
保険積立金の積立による支出	△90	△76
保険積立金の払戻による収入	227	113
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	141	46
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150	△100
長期借入金の返済による支出	△137	△99
自己株式の取得による支出	△645	△343
自己株式の処分による収入	26	169
配当金の支払額	△396	△421
その他	△5	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,308	△798
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△271	△864
現金及び現金同等物の期首残高	4,647	5,732
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,375	4,867

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式105,900株の取得を行いました。また、2025年9月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が343百万円増加しております。

(自己株式の処分)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式105,900株の処分を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が160百万円減少し、資本剰余金が9百万円増加しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金が1,844百万円、自己株式が826百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	プラント ・設備 工事関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	2,608	3,361	618	2,663	1,129	—	10,381
アジア	194	526	—	121	—	—	842
その他	8	384	31	63	—	—	487
顧客との契約から 生じる収益	2,811	4,271	649	2,848	1,129	—	11,711
その他の収益	—	—	—	—	—	127	127
外部顧客への売上高	2,811	4,271	649	2,848	1,129	127	11,838
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	1	61	63
計	2,811	4,271	649	2,848	1,131	189	11,902
セグメント利益	119	333	56	63	36	103	711

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	711
セグメント間取引消去	△0
その他	—
中間連結損益計算書の営業利益	711

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	プラント ・設備 工事関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	2,348	3,363	1,538	3,057	1,008	—	11,316
アジア	314	367	—	99	—	—	781
その他	9	339	—	71	—	—	420
顧客との契約から 生じる収益	2,671	4,070	1,538	3,229	1,008	—	12,518
その他の収益	—	—	—	—	—	129	129
外部顧客への売上高	2,671	4,070	1,538	3,229	1,008	129	12,647
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1	61	63
計	2,671	4,070	1,538	3,229	1,010	191	12,711
セグメント利益 又は損失(△)	51	412	303	52	△9	104	914

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	914
セグメント間取引消去	0
棚卸資産	18
中間連結損益計算書の営業利益	932

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

3. 参考情報

個別業績の概要

2026年 3 月期第 2 四半期（中間期）の個別業績(2025年 4 月 1 日～2025年 9 月30日)

（1）個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期中間期	11,509	8.8	819	43.2	949	41.8	710	△52.1
2025年 3 月期中間期	10,582	23.4	572	△24.1	669	△24.6	1,482	131.6

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年 3 月期中間期	65.67	—
2025年 3 月期中間期	133.52	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 3 月期中間期	23,733	17,192	72.4
2025年 3 月期	24,455	16,927	69.2

（参考）自己資本 2026年 3 月期中間期 17,192百万円 2025年 3 月期 16,927百万円